

[通常機体] フ G 「機動武闘伝 G ガンダム」

ファラオガンダム IV 世

機体名	ファラオガンダム IV 世	画像
型式番号	GF4-001NE	
英語名	PHARAOH GUNDAM-IV	
所属	ネオエジプト	
ファイター	ダハール・ムハマンド	
装甲材質	ガンダリウム合金スーパーセラミック複合材 レアメタル・ハイブリッド多層材	
装備	マンバ・ウィップ×2 パルカン×2	
作品名	機動武闘伝 G ガンダム	
登場話	10 話	
参考書籍	ガンダムエピソードガイド ケイブンシャの大百科 機動武闘伝 G ガンダム大百科電撃ホビーマガジン 2001.11 付録 GGFIL	

内容

ネオエジプト代表のガンダム。

第 3 回ガンダムファイト優勝者ダハール・ムハマンドの第 4 回ガンダムファイト用の機体。

ダハールは第 4 回の決勝戦でネオチャイナのフェイロンガンダムと戦ったが敗れ、死亡してしまった。

しかし、ミイラとなったダハールはミイラ状態のファラオガンダム IV 世と共によみがえり、自国のファラオガンダム XIII 世を破壊し、第 13 回のネオチャイナの代表サイ・サイシーのドラゴンガンダムに雪辱戦とばかりに襲い掛かる。

だが、交戦中に DG 細胞に感染した姿をさらした際に、シャイニングガンダムと乱戦になり、シャイニングフィンガー・ソードで撃破されている。

GGFILE

第 3 回ガンダムファイトの優勝機。

英雄としてダハールと共に、ピラミッドの奥深く安置されていたが、デビルガンダム細胞の感染を受けダハールともども復活した。

備考

一部の資料に当機が第 3 回ガンダムファイト優勝の機体とされているが、命名規則から見てファラオガンダム III 世が優勝機体と思われる。

ファイターがどちらもダハール・ムハマンドだったので資料が混乱している可能性が高い。

また、ファラオガンダム III 世とファラオガンダム IV 世が同じ機体かどうかの確証はない。

(プリテンガンダムとジョンブルガンダムのような例もあるため。)

スペック

項目	内容
----	----

全高	
頭頂高	16.6 m
全長	
本体重量	7.8 t
最大加重重量	15.8 t
ジェネレーター出力	
スラスタ-推力	
センサ有効半径	